

発行・編集 伊達市企画財政部企画課
〒0142-23-3331 内線238・239
FAX 0142-23-4414
E-mail kounou@city. date.hokkaido.jp
〒052-0024 北海道伊達市鹿島町20番地1

として保存しましょう

Close up だて



— 豊富な種類の伊達野菜、 適地適作で、味も鮮度もお任せ！ —

いし ぼし とし かず
石 橋 寿 一さん
(東有珠町)



艶やかな紫色のなす。これからもっと大きくなります

伊 達市では、温暖で安定した気候という特徴を生かして、野菜や米、果物など多くの農産物を収穫しています。
特に、多種多様な農作物を生産している点は他に類がありません。今年7月には、伊達市の野菜を多くの方に知ってもらおうと、大通りビッセ（札幌市）で「伊達マルシェ」と題して、新鮮朝採り野菜の販売と伊達産野菜を使ったメニューの提供などを行い、たくさんの方に伊達産野菜のおいしさと種類の豊富さを楽しんでいただきました。
「適地適作」で、その土地にあったものを作る」と数多くの野菜を同時並行で育成・収穫しているのが今回取材をさせていただいた石橋寿一さんです。
「伊達市は温暖な気候で、それを生かして父はメロンを作っていた



ただいま生長中のかぼちゃ

た。でも、その時々で水が足りなかったり気温が低かったりすることもある。だから、できる範囲で土地や消費者、気候にあった野菜を作っている」と簡単にお話しますが、取材にお邪魔したときでもキャベツやブロッコリー、かぼちゃ、じゃがいも、人参、その他の野菜を収穫したり、苗の植え付けをしたり。その身軽さには驚きました。
「どの野菜にもその専門家がいるから自分はまだまだ。取材を受けるなんて照れくさい。でも、多くの人にさまざまな種類の野菜をタイミングよく届けることができれば、それが何よりうれしい」
新鮮な野菜はおいしさもさることながら、その栄養価も高いものです。皆さん、おいしい野菜を食べていますか？

表紙のはなし



私たちの住む伊達市では、多くの種類の野菜が作られています。店先では、緑や赤、黄色に紫の新鮮な野菜たちが、皆さんの手でおいしく料理されるのを待っています。そんな野菜たちを紹介するべく1種類ごとに撮った写真。全ての種類を掲載できず残念ですが、伊達産野菜を手にするきっかけになってくれればとの思いが詰まった今月号の表紙です。

楽 画 記

■地域によって七夕が8月7日なのは何故？と今さらながら調べてみました。暦が旧から新に変わった時の方針で「今までの行事の時期は地域にまかせろ」になったそう。旧暦7月7日は新暦8月7日。「七夕は7月」というゴロよりも季節感を重視しての8月だとわかりすっきり。今年の天の川は特に綺麗に感じそうです。(や)
■今月のクローズアップでお邪魔したとき、キャベツを収穫中。「ちょっと食べてみて」と頂戴したキャベツの甘こと。驚きです！何より驚いたのが、鉈をいれた瞬間、ぼたぼたとキャベツから水が滴るその瑞々しさ。鳥肌がたちました。その約9割が水分のキャベツ。私もキャベツにあやかり色々な意味で瑞々しさを…。(と)
■先日、「少しでも健康のためになれば」と思い自転車を買いました。ウキウキ気分で通勤に使っていると、2日目に事件が。「ブレーキの利きが悪いな」と感じ、自転車を見てみると、見事に前輪のブレーキが壊れていました。日頃の行いが悪いせい、それとも厄年のせいか…。自分の運の悪さを恐ろしく感じました(た)